

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和元年度)

施設 の 名 称	宮城県宮城野原公園総合運動場
指 定 管 理 者 の 名 称	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
施 設 所 管 部 課 ( 室 )	教育庁スポーツ健康課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	財団法人 宮城県スポーツ振興財団	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・ミスノグループ	
平成29年 4月 ~ 令和4年 3月	指定管理者	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
	所在地	仙台市青葉区錦町一丁目3-9
指 定 期 間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県宮城野原公園総合運動場	
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区宮城野二丁目11-6	
設 置 年 月	昭和25年4月	
根 拠 条 例 等	県立都市公園条例	
設 置 目 的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	154, 156. 77㎡
	構 造	宮城テニスコート:クラブハウス 鉄骨造2階建, 宮城相撲場:鉄筋コンクリート造平屋建
	内 容	テニスコート(人工芝10面) 相撲場
開 館 ( 所 ) 日	年末年始(12/29~翌1/3日迄)及び施設点検日12/28, 1/4 を除く毎日	
開 館 ( 所 ) 時 間	夏時間 4月1日~10月31日まで 8:00~19:00 冬時間 11月1日~3月31日まで 8:00~18:00 その他 土曜日・日曜日・祝祭日 8:00~17:00	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1 本施設の管理運營業務 2 本施設の利用許可に関する業務 3 本施設の利用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設の行為の許可に関する業務 5 本施設の機械設備の操作・日常点検業務 6 本施設の施設・設備, 物品及び敷地の維持管理業務 7 その他本施設の管理運營業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料, 行為許可使用料(独占利用料含む)

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

【宮城テニスコート】

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前年度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
開館(所)日数	359 日	301 日	356 日	99.2%	118.3%
延べ利用者数	52,250 人	44,322 人	48,833 人	93.5%	110.2%

【宮城相撲場】

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前年度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
開館(所)日数	359 日	356 日	356 日	99.2%	100.0%
延べ利用者数	630 人	348 人	356 人	56.5%	102.3%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前年度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
宮城テニスコート	52,250 人	42,444 人	46,813 人	89.6%	110.3%
宮城相撲場	630 人	248 人	276 人	43.8%	111.3%
公園来場者(無料観客・見学・公園)	人	1,978 人	2,100 人	#DIV/0!	106.2%
合 計	52,880 人	44,670 人	49,189 人	93.0%	110.1%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前年度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
県指定管理料	12,784	14,100	14,489	113.3%	102.8%
利用料金収入	9,297	7,838	9,467	101.8%	120.8%
その他	860	11,950	4,792	557.2%	40.1%
収入計 (a)	22,941	33,888	28,748	125.3%	84.8%

(2) 支出

人件費	9,166	12,356	15,817	172.6%	128.0%
施設管理費	13,270	21,268	12,528	94.4%	58.9%
事業運営費	505	264	403	79.8%	152.7%
その他		0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	22,941	33,888	28,748	125.3%	84.8%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和元年度) (A)	前 年 度 (平成30年度) (B)	評価対象年度 (令和元年度) (C)		
事業費	44	14	145	329.5%	1035.7%
参加料収入	461	250	258	56.0%	103.2%
収入計 (a)	505	264	403	79.8%	152.7%

(2) 支出

人件費	336	245	306	91.1%	124.9%
施設管理費	30	0	55	183.3%	#DIV/0!
事業運営費	139	19	42	30.2%	221.1%
その他				#DIV/0!	#DIV/0!
支出計 (b)	505	264	403	79.8%	152.7%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
前期繰越収支差額				#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額		0		#DIV/0!	#DIV/0!

6. 評価対象年度(令和元年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		評価	県の評価 【施設所管課記入】		評価
	正規	非正規						
①管理運営体制	<p>○当事業団内において、事務局と担当課、当該施設の組織としての位置づけを明確にして役割分担し、組織全体で指定管理業務に取り組んだ。</p> <p>○業務分掌により施設における業務について役割を分担し、職責を明確にした管理運営体制を構築した。</p> <p>○配置職員は資質向上、スキルアップを目的とし、各種研修を受講し、安全・安心な管理を徹底するとともに利用者サービスの向上を図った。特に窓口サービスの基本となる接遇やクレーム対応研修、個人情報の取り扱いやコンプライアンスの研修には力を入れ取り組んだ。</p>		<p>○危機管理から経理事務ほか各種事務については事業団全体で役割を分担し、円滑に遂行した。</p> <p>○県担当課、楽天野球団ほか関係団体との連絡体制においては、事業団事務局および当該施設において担当者窓口を明確化し、業務によっては専任の担当者を置くことで効率的な管理運営を行うことができた。</p> <p>○職員の資質向上・スキルアップについては、事業団全体での人材育成(研修)計画により取り組み、加えて施設での伝達研修等の内部研修により配置職員全員の資質向上を目指した。</p>		A	<p>組織の位置づけを明確にし、各種事務の役割を分担するなど、組織全体で取り組む姿勢が見られた。また、人材育成(研修)計画のほか効果的な内部研修を行うなど、職員の資質・能力向上に取り組んでいる。</p>		A
人員体制	正規	9人	非正規	2人				
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>○指定管理料においては、見込まれている修繕費509千円を超え589千円相当の修繕を実施した。</p> <p>○専門業者による相撲場土俵の補修・整備を実施した。</p> <p>○専門業者による各種設備の保守点検や公園内の樹木管理業務を実施した。</p> <p>○職員による日常点検を実施し、特にテニスコートにおいては、コートばかりではなく、クラブハウスの異常も速やかに発見し対応した。</p> <p>また、広大な敷地においても、巡回点検により樹木周辺の異変(スズメバチが大量に発生)を見つけハチの巣を駆除することができた。</p> <p>○職員による日常点検のほか、チェックリストに沿った月1回の月次点検を実施した。</p> <p>○定期的に職員によるテニスコート砂整備や公園内除草等を実施した。</p> <p>○隣接するJR跡地周辺の除草・樹木管理も適宜実施した。</p> <p>○施設の現状について、県と情報を共有しながら維持管理に努めた。</p>		<p>○テニスコートにおいては、職員による日常点検と整備・補修、専門業者による修繕により、適正な維持管理ができ、不具合による長期利用休止をすることなく供用することができた。</p> <p>○相撲場土俵においては、専門業者による適切な補修・整備を計画的に実施することで良好な状態を維持するとともに、長寿命化を図ることができた。</p> <p>○広大な敷地の公園内においても、巡回点検による異変発見の際の速やかな対応や樹木管理を適宜実施したことで、安全かつ美観も損なうことなく公園内の適切な維持管理をすることができた。さらに隣接するJR跡地周辺についても適宜対応した。</p> <p>○県と情報を共有することで適切な維持管理と今後の修繕計画立案に役立てることができた。</p>		S	<p>職員の日常的な保守点検などにより、修繕箇所や異常箇所の早期発見に努めている。また、劣化しているテニスコート及び相撲場については、利用者の安全性を第一に、計画を上回る修繕を行った。</p>		S
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<p>○当施設ホームページ(トップ画面)にテニスコート空き状況お知らせ画面を設け、随時職員が更新することで最新の予約状況を提供した。</p> <p>○テニス一般利用申込については、抽選制とし公平に活動機会を提供した。</p> <p>○テニス一般利用申込については、利用日2日前まではFAX申込を可とした。</p> <p>○使用時間を延長し実施しているテニス早朝一般利用について、登録制による運営方法に見直し、利用日2日前までは予約可とした。(従前は利用日の15日前までの予約受付)</p>		<p>○最新のコート空き状況の情報を提供することで最大限の利用機会を提供し、効率的に施設を供用することができた。あわせて雨天時等におけるコート状態についての情報を提供することで利用者サービスの向上を図ることができた。</p> <p>○テニスコートについては、抽選による公平な利用機会の提供とFAX申込による利用者の利便性向上を図ることができた。</p> <p>○テニスコート早朝利用の運営方法を見直すことで利便性を向上した。また、使用時間を延長したことで利用者拡大を図ることができた。</p>		S	<p>主要施設であるテニスコートについて、ホームページ上で最新の予約状況を提供するなど、利用者のニーズに応じた運営を行っている。また、テニスコートの早朝利用に係る運営方法の見直し等、利用者の利便性向上に努め、利用者の拡大に向けた取組を実施している。</p>		S
④自主事業の実施	<p>○初心者テニス教室(一般)を2期にわたり開催した。</p> <p>○小学生テニス体験会を夏休みに開催した。</p> <p>○新規事業として「ちびっこ相撲仙台場所(小学生対象)」を開催した。</p>		<p>○テニス競技の普及振興ばかりではなく、テニスを通し、生涯スポーツ活動の場を提供し、スポーツ活動人口の拡大に貢献した。</p> <p>○小学生に対し、テニスを通じてスポーツ活動の楽しさを知ってもらい、仲間づくりと今後の活動継続のきっかけを与えることができた。</p> <p>○相撲場の有効活用と相撲文化の理解、継承、こどもたちの健全な心身の育成等を目的とし交流大会を開催した。当事業団で事務局を担っているスポーツコミッションせんだいと共催で、地元ゆかりの浜風親方を招聘し協力を得ながら佐渡ヶ嶽親方や若手力士も来仙し大いに盛り上がり、スポーツとしての相撲に触れるきっかけを提供することができた。</p>		S	<p>初心者及び小学生を対象にしたテニス教室を開催することで、新規利用者の増加や生涯スポーツ活動の実施につながる取組を行っている。そのほか、新たにちびっこ相撲大会を開催し、相撲場の有効活用や国技でもある相撲文化の継承といった新たな取組も実施している。</p>		S

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑤利用者サービスの向上	<p>○テニスコートの早朝一般開放(使用時間延長5:00~8:00)について、運営方法を見直すとともに、使用時間を広げた。</p> <p>○当施設ホームページ(トップ画面)にテニスコート空き状況お知らせ画面を設け、随時職員が更新することで最新の予約状況を提供した。</p> <p>○熱中症対策として、気象庁の注意情報発表時は、クラブハウス会議室に冷房を入れ休憩スペースとして無料で開放した。</p> <p>○テニスラケットレンタル・テニスボール販売を実施した。</p> <p>○テニスボールカートの無料貸出を実施した。</p> <p>○テニスコートクラブハウス前のスペースを有効活用し、自動販売機(飲料)を設置した。</p> <p>○テニスコートクラブハウス男女各更衣室にリターン式(無料)のコインロッカーを設置した。</p> <p>○市政だより(仙台市版・宮城野区版)や河北ウィークリー(フリーペーパー)へ教室参加者募集案内を掲載しPRを図った。</p> <p>○月間行事予定表や教室参加者募集案内についてホームページに掲載するとともに、紙媒体を市内スポーツ施設等に設置しPRを図った。</p>	<p>○テニスコートの早朝開放を実施することで、県民の要望に応え、より多くのスポーツ活動の機会を提供することができた。</p> <p>特に今年度からは運営方法を見直し、利便性を上げ、さらには利用期間も拡大したことでスポーツ活動人口の拡大に寄与することができた。</p> <p>○ホームページでテニスコートの最新の空き状況を提供し、また、随時コンディションをお知らせすることで気軽に利用しやすい環境を整えることができた。</p> <p>○利用者に対する安全管理の一環として、冷房入りの休憩スペースを無料で開放することで、プレーヤーや見学者の熱中症予防に貢献した。</p> <p>○テニスコート側への自動販売機(飲料)の設置や更衣室へのコインロッカー設置等の環境を整備したことで、テニス利用者へのサービスが向上した。</p> <p>○テニス関連物品のレンタル(無料・有料)や販売をすることで利便性の向上を図ることができた。</p> <p>○各種媒体での広報展開により、自主事業や施設について幅広くPRすることができた。</p>	S	<p>早朝時のコート開放やクラブハウス開放に伴う各種対応、自動販売機(飲料)やコインロッカーの設置など利用者のニーズに応じた運営を行っている。また、ホームページ上での最新情報の提供やテニス関連物品のレンタル・販売など、利便性の向上に向けた取組を行っている。</p>	S
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>○「お客様の声」BOXをロビーに設置し、利用者ニーズの把握に努めた。</p> <p>○窓口や電話での要望・苦情についても抽出する仕組みを構築し対応した。</p> <p>【代表例】 ⇒更衣室へのイス設置の要望があり、すみやかに設置した。</p> <p>○テニスコートの不具合に特化した「不具合報告書」をクラブハウスに設置し、利用者からもタイムリーに不具合の情報を収集した。</p> <p>【代表例】 ⇒ネットの劣化による不具合が報告され、速やかに修繕を実施した。</p> <p>○利用者意見交換会の実施</p> <p>【代表例】 ⇒早朝テニス利用団体と意見交換会を実施した。(振り返りや今後に向けて要望等)</p>	<p>○お客様の声(投書)により寄せられる要望・苦情だけでなく、利用者との普段のコミュニケーションから、かまえることなく気軽に寄せられた要望等についても抽出し、職員間での共有により速やかに対応できたことにより利用者の満足度向上に繋げることができた。</p> <p>○職員による点検だけではなくコート不具合報告書により利用者から寄せられた情報を活用することで、速やかなコート・設備の維持管理ができた。またそれにより利用休止を未然に防ぎ、より多くの利用機会を提供することができた。</p> <p>○利用者との意見交換会により、今後の体制にむけての意見交換ができ、さらには意見交換をすることで、信頼関係を構築するきっかけとなり有意義であった。</p>	A	<p>各窓口で利用者の意見要望を聞く体制を整えている。また、把握した苦情・要望については検討のうえ、速やかな対応を実施している。</p>	A
⑦安全対策	<p>○テニスコート(コート・クラブハウス)への防犯カメラ設置(H29に2台設置、今年度さらに2台を増設)</p> <p>○職員による巡回・設備点検(日常)実施。</p> <p>○職員によるチェックリストに基づいた施設設備の定期点検実施。(月1回)</p> <p>○テニスコートクラブハウスへの機械警備(利用時間外)および警備会社警備員による利用時間外の公園内巡回警備。</p> <p>○隣接する交番との連携による警戒の実施。 ⇒日常的に連絡を密にとりながら、不審者が来場した場合の巡回なども要請。</p> <p>○窓口へのカラーボール設置。</p> <p>○危機管理マニュアルに基づいた危機管理の実施。</p> <p>○当事業団組織全体のBCPIに基づいた組織全体での災害時対応訓練の実施(年2回)</p> <p>○防火・避難訓練(年2回)の実施。</p> <p>○心肺蘇生法・救急法研修(外部講師)の受講と受講者による伝達研修等内部研修の実施。</p>	<p>○テニスコートおよびクラブハウスの防犯対策として防犯カメラを設置した。今年度2台増設したことでテニスコート全面が概ねカバーされクラブハウスの出入り等も含め監視することで抑止力も高まり、安全安心な利用に寄与している。</p> <p>○日常および定期点検により発見した危険箇所や不具合等について速やかに対応することができ事故防止にもつながった。</p> <p>○隣接する「総合グランド前交番」と当施設で相互に頻繁に行き来し、情報を交換しながら、日常的に警戒体制がとれたことは有効であった。施設からの依頼時の巡回だけではなく、特に何もなくても、適宜巡回パトロールをしていただくことにより公園内防犯において抑止力となっている。</p> <p>○各種訓練および研修により、職員の危機管理意識や防犯意識、救急対応の意識を高め、非常時に備えている。当事業団として組織全体での取り組みでもあることから、人事異動により職員が入れ替わっても差がでないように対応している。</p>	S	<p>職員による日常の安全対策、施設の定期点検による安全対策に加え、防犯カメラを増設するなど、防犯・安全対策の取組強化を行っている。また、各種訓練や研修により、職員の危機管理等に対する意識を高めており、組織全体で取り組む姿勢が見られている。</p>	S
⑧県民の平等利用	<p>○施設管理運営規程を遵守し、優先、専用利用の予約受付を平等に行った。</p> <p>○テニスコートにおける一般利用については毎月1回公開抽選日を設け、利用上限を決め、抽選を行うことで、特定の利用者に偏ることなく誰でも公平・平等に利用できるよう配慮した。</p>	<p>○施設管理運営規程に基づき年間利用調整および抽選制度により県民の平等利用を達成できた。</p>	A	<p>年間利用調整及び抽選制度により、特定の団体等に偏った競技利用及び一般利用の防止に努めており、県民が平等に施設を利用できるよう配慮していることが認められる。</p>	A
⑨個人情報の保護	<p>○当事業団の個人情報保護規程及び特定個人情報取扱規程を遵守し適正に取り扱いをしている。</p> <p>○施設長は仙台市主催の「情報管理者研修」を受講し、適正な管理を行った。</p> <p>○職員に対しては、仙台市主催の「個人情報セキュリティ研修」等の受講や内部で実施する複数の研修により、意識を高め、個人情報の適正な取り扱いを行った。</p> <p>○個人情報の記載されている書類については、施錠できるキャビネットに保存する等管理を徹底した。</p>	<p>○個人情報保護規程等を遵守し、全職員が情報を適正に取り扱ったことで漏洩事故は発生しなかった。</p> <p>○職員研修により個人情報保護の意識を高め情報漏洩防止に努めることができた。</p>	A	<p>個人情報保護規程の遵守、職員研修の実施など、情報の漏洩等事故防止に努めている。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑩利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり。	○テニスコートの利用人数については、当初計画に対し93.4%となり、目標を下回った。これは年度末に新型コロナウイルス感染症の流行により大会がキャンセルとなったことも影響しており、通常であれば目標に近い水準であったと推察できる。 ○相撲場については、当初計画は下回ったものの、新規自主事業の開催などにより前年度の利用者数は上回ることができた。	A	テニスコートについては、当初計画を下回ったものの、新型コロナウイルス感染症による影響を除けば、概ね計画水準であった。相撲場については、利用者拡大に向けた取組により、前年度実績を上回ったものの、当初計画を下回っているため、引き続き、利用者数の増加に向けた取組が必要である。	A
⑪収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり。	○利用料金収入については、前年度を大幅に上回り、対前年比で120%となった。 (※減収補填分を含まず) 前年度は改修工事に伴う2か月間の全面休場したことによる減収であったが、今年度については年度末に新型コロナウイルス感染症の流行による大会のキャンセルがあったものの目標は達成することができた。	A	事業計画上の収入額を上回る実績があり、安定した管理運営が行われていた。	S
⑫その他の取組	○楽天野球団と連携し、共催事業を積極的に実施することで公園全体を有効活用した。 【具体例】 ⇒マラソン・駅伝大会・弟子入り体験 他 ○地域猫への対応について楽天野球団と連携し、仙台市の動物管理センターとも定期的に情報を共有しながら取り組んだ。 ○地域活動への貢献として、公園内で行う地元町内会夏祭りへの協力や「宮城野区マイタウンスポーツ協会」へ参画した。 ○冬期積雪時においては、職員が除雪機による除雪をおこない、速やかに公園内歩行者の通路を確保した。 ○地元の中学校を中心に職場体験を積極的に受け入れた。	○楽天野球団との共催事業により、公園全体を有効活用しながら賑わいを創出し、多くの県民が宮城野原公園に親しむ機会を提供することができた。 ○地元住民にとっての施設・公園の役割を考え、地元に変えられる公園管理を目指し、地域貢献することができた。	A	楽天野球団との連携、各種イベント等への協力及び地域貢献活動など、公園全体の利活用の促進に向けた取組を行っていた。	A
総合評価		○全般的には、事業計画通り、またはそれ以上の管理運営ができた。常に利用者ファーストの姿勢でニーズに応えながら、年間を通し安全・安心な施設運営がすることができた。 ○ともに公園を管理する楽天野球団との強い連携による事業展開により、地域・施設の特徴を最大限に発揮した運営がすることができた。	S	事業計画に掲げた業務・事業を確実に履行しているほか、テニスコートの早期解放など、利用者ニーズに応えながら柔軟な運営を行っている。 また、ともに公園を管理する楽天野球団と共催事業を開催するなど、連携を図りながら施設運営を実施している。	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	【公園全体】 ○全体的に点灯しない外灯が比較的多く見受けられる。楽天観戦者も多数来園するため、安全管理上からも、H29に調査した結果をもとに、修繕する必要がある。 ○外周フェンスが全体的に劣化し倒れる恐れもあるため計画的に改修する必要がある。 ○井水系統(トイレ・散水で利用)に漏水や想定利用者数を超えた利用による機能不足が発生しているため改修・更新が必要である。 【相撲場】 土俵屋根の劣化が著しいため全面改修の必要がある。	照明施設、外周フェンス及び井水系統の修繕等については、費用対効果の検証、他施設の修繕計画等を見極めながら対応を検討していく。 また、当施設についてはスポーツ施設利用者以外の公園利用者やプロ野球観戦者等が多数来所することから、近隣関係施設・関係機関との連携を密にし、引き続き、公園全体の利用者の安全に配慮しながら管理運営を行っていく必要がある。